

誰一人取り残さない 安全安心なやさしいまちを目指して

Re Start

福祉課（内線222）

人権感覚を高め お互いを認め合う 人権尊重のまちづくり

人権のまど

市民活動課（内線357）

Vol.24 拘禁刑

6月1日から、懲役と禁錮を1つにした「拘禁刑」が導入されることをご存じですか。

テレビや新聞などで、懲役や禁錮という言葉を目にするとおもうと思います。現在、受刑者の多くは懲役刑を科せられており、刑期中は刑務作業（刑務所で働くこと）が義務付けられています。

拘禁刑は受刑者に刑務作業を義務付けるのではなく、受刑者の特性に応じて作業と指導、教育を組み合わせることで、再犯防止や社会復帰に必要な教育を行うことができます。

罪を犯した人は、いずれ社会に戻ります。こうした人たちが再び犯罪をしないで安定した生活を送るためには、刑務所内で社会に戻るためのプログラムが必要であるとともに、社会復帰を受け入れる側である地域の人たちの協力や理解が欠かせません。

罪を犯してしまった人の立ち直りを支えていくために、それぞれの立場でできることを一緒に考えていきましょう。

LGBT（性的マイノリティ）への理解と尊重の重要性

あなたの周りにLGBTの知り合いや友人はいますか。この質問に「いない」と答える方は多いのではないのでしょうか。実際には学校・職場・家庭・地域など、あなたの周りで暮らしています。ある民間の調査によると、LGBTの割合は9.7%となっています。これは、血液型がAB型の人（約10%）、左利きの人（約11%）とほぼ同じ割合です。

これまでの社会では、「女性」と「男性」という二元的な性別や、異性愛を前提にした制度や仕組みが作られてきました。しかし、同性愛者や両性愛者、性別に違和感を抱える人たちも共に生活しています。LGBTへの無理解や偏見は、当事者に生きづらさを引き起こし、性的指向や性自認を打ち明けることを難しくしています。

すべての人が異なることが「あたりまえ」であり、それぞれが大切な存在です。性的マイノリティへの理解を深め、誰もが自分らしく生きる社会を目指したいですね。

土岐商写真部×広報とぎ

土岐の写真を撮り隊 Vol.22 ひな人形



皆さんは、ひな祭りについて何を思い浮かべますか。

ひな人形を思い浮かべる人が多いと思います。

そこで陶器で作られたひな人形を撮りました。

東美濃地域の魅力を発信している“もとてらす東美濃”で、ぜひ本物を見てみてください。

撮影班 二年 谷口由奈・徳田珠名・松葉心虹